

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

五洋建設株式会社（証券コード：1893）

【据置】

長期発行体格付	A -
格付の見通し	安定的
債券格付	A -
国内C P 格付	J - 1

格付事由

- 海上土木工事で国内トップの建設会社。シンガポールや香港を中心に海外展開しており、海外工事の受注も多い。国内土木（海上・陸上）、国内建築、海外建設の三事業が柱であり、各事業ともに収益貢献している。従来、国内建築事業の収益が厳しかったが、受注環境の好転や受注管理の厳格化などにより、同事業の収益貢献度が高まっている。
- 当社は臨海部の工事における高い競争力や海外工事の豊富な実績を背景に、安定した収益を確保してきた。近年、国内建築事業の施工量増加や工事採算の改善が牽引し、収益水準が向上している。今後、東京五輪に向けた競技施設や関連インフラ整備の本格化に伴い労務費などが上昇する可能性があるが、手持ち工事の水準や採算を重視した受注姿勢を考慮すれば、当面は堅調な収益が見込まれる。さらに、収益水準の向上による資本蓄積とネット有利子負債の削減により、財務の健全性も保たれている。以上を総合的に勘案し、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 16/3期は営業利益 206 億円（前期比 67.7%増）と 3 期連続の増益となり、最終利益は過去最高益を更新した。大型工事の立ち上がりの影響で海外建設事業が減益となったが、それ以外の事業では順調に工事が進捗して増益となった。17/3期は営業利益 215 億円（同 4.3%増）と、増益が見込まれる。国内土木、海外建設事業の完工高増加や施工効率向上などが寄与する見通しである。ただ、海外を中心に大型工事の受注が続いており、大型工事の進捗や採算性をフォローしていく。
- 過年度においては、ネット有利子負債が増加していたが、利益水準の上昇や運転資本の減少などにより、16/3期末時点のネット有利子負債は 78 億円（前期末比 486 億円減）まで減少している。今後、作業船の投資などを予定するが、設備投資額は営業キャッシュフローの範囲内に収まるとみられ、財務の健全性は維持される見通しである。

（担当）窪田 幹也・下田 泰弘

格付対象

発行体：五洋建設株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 2 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2013 年 7 月 26 日	2018 年 7 月 26 日	0.87%	A-
第 3 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2014 年 7 月 30 日	2021 年 7 月 30 日	0.68%	A-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	400 億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2016年7月25日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：島田 卓郎
主任格付アナリスト：窪田 幹也
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<http://www.jcr.co.jp>) の「格付方針等」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<http://www.jcr.co.jp>) の「格付方針等」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「総合建設」(2012年3月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 五洋建設株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関するJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページの“Rating Information” (http://www.jcr.co.jp/english/top_cont/rat_info01.php) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル